

第5学年国語科学習指導案

日 時 平成24年10月11日(木) 5校時

児 童 男子11名 女子5名 計16名

指導者 横 田 堅太郎

- 1 単元名 構成や心情、特徴的な表現をとらえ、感じたことを伝える解説ノートを作ろう
教材名 「注文の多い料理店(東京書籍 5年下)」

2 単元について

(1) 児童について

児童は、6月の単元「中心人物を中心に、変化したことを読み取ろう」において、基本的な構成をとらえ、場面の展開に即して人物の変化を読み取る学習を行った。

場面の变化や時間の流れに気をつけながら読み、叙述を手がかりにしながら「設定」「展開」「山場」「結末」に分けることができるようになってきたが、場面の变化をとらえることができなかつたり、作品の大まかな内容をとらえたりすることができず自分なりの考えを持つことができない児童もいた。

しかし、人物や町の様子の変化を読み取ることについては、対比読みにより全員がそれらの変化を読み取ることができた。

初めて出会う教材に対して興味を持って読もうとする児童は少ない。指名読みをさせても流暢に読める児童は多くはない。また、積極的に作品の中に入り込み、叙述から登場人物の心情を推し量ったり場面の様子を想像したりする力が定着しているとは言えない。

(2) 教材について

本単元では、学習指導要領「C 読むこと」の指導事項「エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること」を取り上げ、作品中の優れた叙述を根拠にして、自分が伝えたいと思った叙述を解説する力をつけることをねらいとしている。

本教材では、二人の紳士や山猫の会話、次々に出てくる戸に書かれている注文の言葉、場面の展開を表す描写等、様々な表現上の工夫がなされていることにも特徴がある。本単元ではそれらの面白さや特徴的な表現にも気付かせることにより、児童の感じたこと、考えたことを大切にしながら、解説ノートの作成に迫っていけると考える。

(3) 指導にあたって

本単元では、言語活動例「エ 本を読んで推薦の文章を書くこと」を参考にしながら、解説ノートを作る言語活動を、単元を貫く言語活動として設定する。

児童の意欲を高めるため、宮澤賢治作品読書チェックシートを用意するとともに、多くの作品に触れさせるために市立図書館から本を借りておく。

仮説(1)の「習得した知識・技能を活用する言語活動の展開」に関しては、まず、指導者が提示した3つの解説ノートを提示し、この教材で学習する目的を理解させるとともに積極的に教材を読もうとする意欲を持たせる。

次に、「注文の多い料理店」を、「物語の構成」「登場人物の心情」「宮澤賢治作品の特徴的な表現」

の3つの観点で読みながら解説ノートに取り上げたい個所を考えていく。また、「世界でいちばんやかましい町」で学習したことを活かしながら「注文の多い料理店」の構成立てをしたり、それぞれの場面において、叙述を基にしながら紳士の心情を読み取ったり、作者の特徴的な表現を読み取ったりする力をつける。そして、児童が第二次で記録してきた箇所を用いながら解説ノートを作成するという言語活動に取り組む。児童一人一人が取り上げた個所について、それを取り上げた理由を記しながら解説ノートを作成しお互いに読み合う活動を通して、ここで学習した物語の構成や登場人物の心情、特徴的な表現についての理解をさらに確かなものにする。また、次の単元「ふしぎな世界へ出かけよう」における物語の執筆活動に生かすきっかけづくりとする。

仮説(2)の「叙述を根拠に思考する場を位置付けた指導」に関しては、物語の構成を学習してからは、場面ごとにまとめた教材を提示し作品の構成が一目でわかるようにする。登場人物の心情をとらえさせるための手立てとして、会話文や行動に関する叙述に注目させる。また、特徴的な表現を見つける学習においては、宮澤賢治の他の作品と比べて読ませる。

3 単元の目標

【国語への関心・意欲・態度】

○興味を持って、構成や心情を考えたり特徴的な表現を探したりしながら読もうとしている。

【読むこと】

◎登場人物の心情や物語の構成、特徴的な表現をとらえ、その中から自分が伝えたい叙述について解説ノートを作ることができる。(C読むこと エ)

○作成した解説ノート进行交流し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。

(C読むこと オ)

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

・掛け言葉やユーモアなどに気づき、作品を読むことができる。(伝国 イ(ケ))

4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・自分が感じたおもしろさの理由を明らかにするために教材を読み返したり、読む相手を意識しながらわかりやすい解説ノート作ったりしようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・物語の構成や登場人物の心情、特徴的な表現を読み取り、自分が解説したい叙述を伝えるために解説ノートを作っている。(1)エ ・解説ノート进行交流し、友達の考えに触れたり友達の考えを認めたりしながら自分の考えを広めたり深めたりしている。(1)オ 	・掛け言葉やユーモアなどに気づき、作品を読んでいる。(イ(ケ))

5 単元指導計画と評価規準（9時間）

段階	時	学習活動	・指導上の留意点 □ 具体の評価規準（方法）	取り上げる言葉
第一次	1	<p>◎解説ノートを作ることを知り、そのために取り上げることがらを理解する。 ＜解説ノート作成の観点＞</p> <p>①物語の構成</p> <p>②登場人物の心情</p> <p>③特徴的な表現</p>	<p>・指導者が作成した「猫の事務所」と「世界でいちばんやかましい音」、「ごんぎつね」の解説ノートを提示し、今後の言語活動のイメージをもたせる。</p>	<p>解説ノート 物語の構成 登場人物の心情 特徴的な表現</p>
	2	<p>◎教材を通読し初発の感想を交流し、着目した観点がそれぞれ違っていることを知る。</p> <p>◎新出漢字と読み替えの漢字の読みと書きを理解する。</p>	<p>・物語の展開や二人の紳士の人物像、特徴的な表現についても感想を書けるように意識させる。</p> <p>関興味を持って読み、自分なりの感想をもとうとしている。（ノート）</p>	
第二次	3	<p>◎大まかなあらすじを理解する。</p> <p>◎物語の構成をとらえる。</p>	<p>・「時」、「場所」、「人物」、「行動」に着目させて、物語の展開を押さえさせる。</p> <p>・物語の基本的な構成である「設定」「展開」「山場」「結末」の4つの部分に分けた後、「現実の世界」「ふしぎな世界」「現実の世界」という流れを押さえ、「ふしぎな世界」がどこからどこまでなのかを確認させる。</p> <p>読物語の大まかなあらすじを押さえ、物語の構成をとらえている。（学習プリント）</p>	<p>「風がどうとふいてきて、草はザワザワ、木の葉はカサカサ、木はゴトンゴトンと鳴りました。」</p>
	5 ・ 6	<p>◎戸に書かれてある言葉を都合のいいように解釈する二人の紳士の心情を読み取る。</p>	<p>・戸に書かれてある言葉の、「本当の意味」と「二人の紳士の受け止め方」という、山猫の側と紳士の側の両面から考え、紳士が都合のいいように解釈していることを押さえさせる。</p>	<p>（戸に書かれてある言葉） （紳士の言葉） （戸の内側の会話）</p>

		<p>読 戸に書かれてある言葉を自分たちの都合のいいように解釈している紳士の心情を読み取っている。(学習プリント)</p> <p>言 掛け言葉やユーモアなど、特徴的な表現に気づき、作品を読んでいる。(学習プリント)</p>	
7 (本時)	◎宮澤賢治作品に出てくる特徴的な表現について知る。	<ul style="list-style-type: none"> 他の作品と比べながら読み、「賢治作品」の特徴的な表現を挙げ、解説ノートに取り上げたい言葉と理由を書かせる。 <p>読 宮澤賢治作品には特徴的な表現があることが分かる。(学習プリント)</p>	
第三次	8	<p style="text-align: center;">「解説ノート」を作る。</p> <p>◎解説ノートを作り、自分なりの作品解釈を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「どんな観点」において、「どんな言葉を選んだのか」、その「理由」は何なのかを書かせる。 <p>関 読む相手を意識しながらわかりやすい解説ノートを作ろうとしている。(観察)</p> <p>読 自分が解説したいと思った叙述を伝えるために解説ノートを作っている。(学習プリント)</p>	解説ノート
	9	<p>◎友達の解説ノートを読み合い、友達の考えに気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 解説ノートを交換して読み合い、感想を交流させる。 <p>関 友達の解説ノートから感じた自分の感想を交流しようとしている。(学習プリント)</p>	

6 本時の指導（7/9時間）

（1）目標と具体的評価規準

【目標】

他の作品と比べて読みながら宮澤賢治作品の特徴的な表現をとらえることができる。

【評価規準 B】

宮澤賢治作品の特徴的な表現を叙述から見つけ、学習ノートに書き出している。

（2）展 開

段階	学習内容及び学習活動	・指導上の留意点 ◎個に応じた支援 □評価規準（方法）
つかむ 2分	1 前時の学習を想起する。 2 本時の学習課題を確認する。 注文の多い料理店で使われている表現と他の作品の表現を比べよう。	・「登場人物の心情」について読み取りを終え、解説ノートに記したい個所を押さえたことを確認させる。
深める 33分	3 他の作品と比較し共通している特徴的な表現を探す。 4 他の作品の一部分と本教材を比較し、共通する特徴的な表現をさがし、何を表すための表現なのかを考える。 5 特徴的な表現を全体で確かめ、賢治作品には、「色」を想像させる表現や言葉を「繰り返し」の表現など特徴的な表現があることを知る。 6 作品を読みなおし、解説ノートに取り上げたい言葉を選びその理由を書く。	・一斉指導の中で、他の作品にも出てくる表現を探し出し、それが賢治作品の特徴的な表現であることを理解させ本時の学習の見通しを持たせる。 ・二人一組になって探し出させる。 読 他作品にも見られる特徴的な表現を書き出している。（学習プリント） ◎オノマトペを視点として読ませる。
まとめ 10分	7 本時の学習を振り返る。 8 次時の学習について確認する。	・本時の学習でわかったことを書かせる。

(3) 板書計画

